

「学力向上ポートフォリオ(中学校版)」

学力向上目標

全ての生徒に対して、

○基礎的・基本的な知識及び技能の定着。

・国語・社会・数学・理科・G・Sの各教科で当該学年の「知識及び技能」について自校テストを実施(各学期1回)し、正答率を80%以上とする。

○思考力・判断力・表現力等の育成。

・令和3年度さいたま市学習状況調査の国語及び数学において、「思考力・判断力・表現力等」を問う設問について自校の平均正答率を令和元年度(2年度は1・2年生実施なし)の値より5pt向上させる。

○学びに向かう力、人間性等の育成。

・令和3年度さいたま市学習状況調査生徒質問紙において、「(国語/数学/社会/理科/G・S)の勉強は好きですか」の各項目について、肯定的回答の割合を令和2年度の数値より5pt向上させる。

○ICTの活用の促進

・令和3年度さいたま市学習状況調査生徒質問紙において、「問題を解決するために、コンピュータを活用して情報を集めて整理したり、分析したり、まとめたりする学習をすることができましたか」の項目について、肯定的回答の割合を令和2年度の数値より5pt向上させる。

具体的な手立て

- ①「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の学習プロセスのうち、「つかむ」「見通す」「メタ認知」を重点とした学習活動を行う。
- ②学習活動の中で、「考えるための技法」を意識付けた指導を行う。
- ③国語科の授業において、週に一回漢字小テストを実施する。
- ④数学科の授業において、授業のはじめに既習事項のトレーニングを設定する。
- ⑤各教科等の授業において、生徒が思考・判断・表現する場面でタブレット端末を活用する場面を設定する。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて